

答案用紙

「答案用紙は、間違えるための場所」

「考えたけどわからなかった」というときに、答案用紙を白紙のままにしてしまう人がいます。これは、とってももったいないことです。

せっかく考えたことで、答えにまでして文字にさえ残しておけば、それが当たれば嬉しくて記憶に残るし、外れれば間違えたところとして記録に残せる。どちらにしても、勉強が進みます。

ですから「答案用紙は、間違えるための場所」と決め込んで、思いついた答えはジャンジャン書いていくようにしましょう。合格への近道です。

第 133 回

●問題→別冊 P 2

●解答・解説→P 2

第 1 問 配点→20 点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第2問 配点→20点

問1

貸倒引当金			
() () () ()	4/1	前期繰越	10,000
() () () ()			
() () () ()			
() () () ()			10,000
() () () ()			10,000

問2

損益計算書(一部)			
自×1年4月1日 至×2年3月31日 (単位:円)			
I 売上高			()
II 売上原価			
1. 期首商品棚卸高	1,000,000		
2. 当期商品仕入高	3,000,000		
合計	4,000,000		
3. 期末商品棚卸高	500,000	3,500,000	
売上総利益			()
III 販売費及び一般管理費			
1. 給料	800,000		
2. 貸倒損失	()		
3. 商品保証引当金繰入	()		
4. 商品保証費	()		
5. 賞与引当金繰入	()	()	
営業利益			()

第 3 問 配点→20 点

精 算 表
平成×7年3月31日

(単位：円)

北陸株式会社

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
当座預金	195,000							
受取手形	80,000							
売掛金	130,000							
商品	39,600							
消耗品	15,000							
仮払消費税	165,200							
建物	3,900,000							
備品	400,000							
のれん	144,000							
支払手形		263,000						
買掛金		320,000						
仮受消費税		169,600						
借入金		1,000,000						
退職給付引当金		380,000						
貸倒引当金		9,200						
建物減価償却累計額		532,500						
備品減価償却累計額		168,750						
資本金		1,500,000						
利益準備金		150,000						
繰越利益剰余金		246,360						
売上		2,334,540						
売上原価	1,151,400							
給料	660,000							
退職給付費用	33,000							
減価償却費	151,250							
支払利息	9,500							
	7,073,950	7,073,950						
貸倒損失								
貸倒引当金繰入								
棚卸減耗損								
商品評価損								
消耗品費								
()								
() 償却								
() 利息								
当期純()								

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第4問 配点→20点

	工場の仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

	本社の仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

第 5 問 配点→20 点

アシストノート

計算用紙

(単位:円)

	No.102	No.201	No.202	No.203
月初仕掛				
直 材				
直 労				
製 間				
当月製造				
直 材				
直 労				
製 間				
合計				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

問 1

仕 掛 品 (単位:円)

前 月 繰 越 ()	製 品 ()
直 接 材 料 費 ()	次 月 繰 越 ()
直 接 労 務 費 ()	
製 造 間 接 費 ()	
()	()

問 2

売上原価 = 円

第1問 配点→20点

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

第2問 配点→20点

アシストノート	計算用紙
銀行勘定調整表(両者区分調整法)	
当座預金残高 (加算)	銀行側 (加算)
(減算)	(減算)
B/S当座預 _____ =====	B/S当座預 _____ =====

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

(1)

銀行勘定調整表
平成〇年3月31日

当座預金勘定の残高	()
(加算) [] ()	
[] ()	()
(減算) [] ()	
[] ()	()
銀行残高証明書の残高	()

※ [] には、資料Ⅱにおける番号①～④を記入しなさい。
() には、金額を記入しなさい。

(2) 資料Ⅱ

借方科目	金額	貸方科目	金額

資料Ⅲ

借方科目	金額	貸方科目	金額

※決算整理仕訳は、各行に1組ずつ記入しなさい。

(3)

現金	当座預金

第3問 配点→20点

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	219,300							
当座預金	309,700							
受取手形	416,800							
売掛金	327,200							
クレジット売掛金	23,000							
繰越商品	384,000							
建物	900,000							
備品	300,000							
建設仮勘定	1,000,000							
のれん	240,000							
支払手形		367,900						
買掛金		382,300						
貸倒引当金		8,500						
建物減価償却累計額		324,000						
備品減価償却累計額		100,000						
資本金		2,000,000						
利益準備金		250,000						
繰越利益剰余金		363,300						
売上		4,176,000						
受取家賃		525,000						
仕入	3,195,000							
給料	839,000							
支払保険料	340,000							
支払手数料	3,000							
	8,497,000	8,497,000						
()								
支払利息								
売上原価								
商品評価損								
棚卸減耗損								
貸倒引当金()								
減価償却費								
売上割戻引当金繰入								
売上割戻引当金								
のれん償却額								
()家賃								
()保険料								
()利息								
当期純()								

第4問 配点→20点

アシストノート

計算用紙

直 材	
月初 素部	直材 素部
当仕 素部	月末 素部

間 材	
月初 補	間材 補
当仕 補	月末 補

直接工	
	直 労
	間 労

間接工	
当 支	前 未
当 未	間 労

製間費	
間材	予 定
間労	
電力料	差 異
保険料	
減償	
水道	

仕 掛	
月初	完成
直材	
直労	
製間	月末

製 品	
月初	販売
完成	月末

売 原	
販売	売原
差異	

配賦差異	
製間費	売原

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

製造原価報告書

(単位：円)

I	直接材料費		
	月初棚卸高	()	
	当月仕入高	()	
	合計	()	
	月末棚卸高	()	()
II	直接労務費		()
III	製造間接費		
	間接材料費	()	
	間接労務費	()	
	電力料金	()	
	保険料	()	
	減価償却費	()	
	水道料金	()	
	合計	()	
	製造間接費配賦差異	()	()
	当月製造費用		()
	月初仕掛品原価		()
	合計		()
	月末仕掛品原価		()
	当月製品製造原価		()

損益計算書

(単位：円)

I	売上高		42,580,000
II	売上原価		
	月初製品有高	()	
	当月製品製造原価	()	
	合計	()	
	月末製品有高	()	
	原価差異	()	()
	売上総利益		()

(以下略)

第5問 配点→20点

直接原価計算による損益計算書では、売上高から変動費を控除して(①)を計算し、さらに固定費を控除して営業利益を計算する。第1期の①は(②)円、営業利益は(③)円である。一方、全部原価計算によると、第1期の売上総利益は(④)円、営業利益は直接原価計算と同じである。

第2期の営業利益は、直接原価計算によると(⑤)円、全部原価計算によると(⑥)円である。この営業利益の差は、全部原価計算において期末棚卸資産に含まれる(⑦)の分である。

仮に、第2期の製品生産量を3,000個とすると、期末製品在庫量は(⑧)個に増える。このときの営業利益は、直接原価計算によると(⑨)円、全部原価計算によると(⑩)円になる。

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第 1 問 配点→20 点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

第3問 配点→22点

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	2,019,000							
当座預金	3,300,000							
受取手形	1,500,000							
売掛金	2,500,000							
貸倒引当金		90,000						
売買目的有価証券	1,200,000							
繰越商品	1,960,000							
建物	10,000,000							
建物減価償却累計額		4,500,000						
備品	1,500,000							
備品減価償却累計額		732,000						
その他有価証券	143,000							
関連会社株式	3,000,000							
支払手形		2,200,000						
買掛金		2,800,000						
資本金		11,500,000						
利益準備金		1,946,000						
繰越利益剰余金		900,000						
売上		48,500,000						
受取配当金		20,000						
有価証券利息		4,000						
仕入	34,900,000							
給料	5,820,000							
広告宣伝費	2,450,000							
保険料	900,000							
支払地代	2,000,000							
	73,192,000	73,192,000						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
有価証券評価()								
棚卸減耗損								
商品評価損								
() 保険料								
() 有価証券利息								
()								
その他有価証券評価差額金								
当期純()								

第 4 問 配点→20 点

問 1

月次予算部門別配賦表

(単位：円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門	
		第 1 製造部	第 2 製造部	修 繕 部	倉 庫 部
部 門 費	345,000	104,000	99,000	78,000	64,000
修 繕 部 費					
倉 庫 部 費					
製 造 部 門 費					

問 2

製造間接費—第 1 製造部

仕 掛 品

諸 口	182,000	仕 掛 品 ()	製造間接費—第1製造部 ()
		配 賦 差 異 ()	製造間接費—第2製造部 ()
	<u>182,000</u>	<u>182,000</u>	

製造間接費—第 2 製造部

諸 口	144,500	仕 掛 品 ()
配 賦 差 異 ()		
()		()
	<u>()</u>	<u>()</u>

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

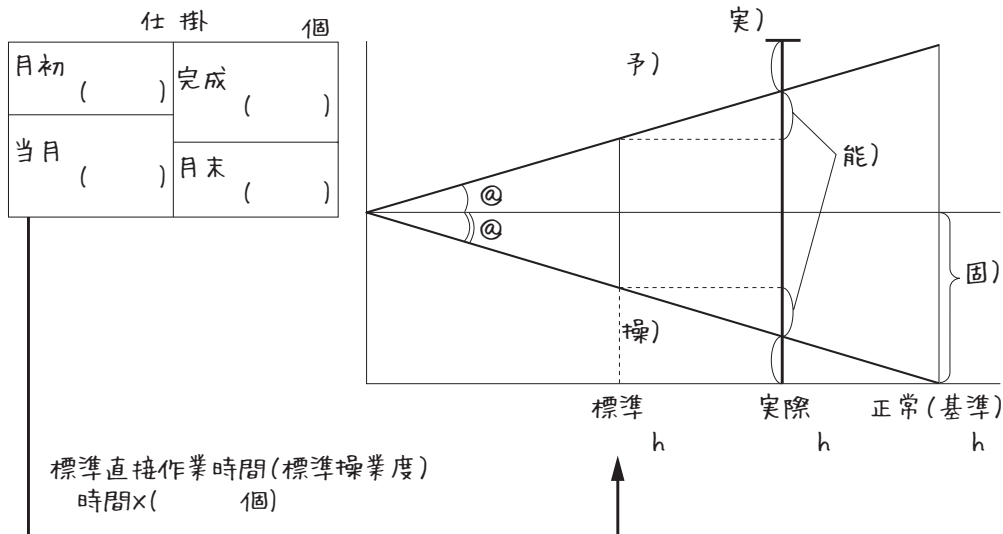
142回

143回

第5問 配点→20点

アシストノート

計算用紙



問1 固定製造間接費の標準配賦率 = 円/時間

問2 当月の標準配賦額 = 円

問3 製造間接費総差異 = 円 (有利 ・ 不利 差異)

予 算 差 異 = 円 (有利 ・ 不利 差異)

能 率 差 異 = 円 (有利 ・ 不利 差異)

操 業 度 差 異 = 円 (有利 ・ 不利 差異)

(注) ()内の「有利」または「不利」を○で囲むこと。

第 136回

●問題→別冊 P17

●解答・解説→P41

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第2問 配点→20点

設問1

仮払消費税

諸	口	446,000	() () ()
() () ()			() () ()
() () ()			() () ()
() () ()			() () ()
		()	()

仮受消費税

() () ()	諸	口	600,000
() () ()			() () ()
() () ()			() () ()
		()	()

仮払法人税等

() () ()	() () ()
() () ()	() () ()
() () ()	() () ()
	()

租税公課

諸	口	9,000	() () ()
() () ()			() () ()
() () ()			() () ()
		()	()

設問2

借方科目	金額	貸方科目	金額

第3問 配点→20点

損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位：円)

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	()	売上高	()
当期商品仕入高	()	期末商品棚卸高	()
営業費	()		
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
当期純利益	()		
	()		()

貸借対照表

平成27年3月31日 (単位：円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金預金	()	買掛金	()
売掛金	()	未払法人税等	()
貸倒引当金	()()	未払費用	()
商品	()	資本金	()
建物	()	資本準備金	()
減価償却累計額	()()	繰越利益剰余金	()
備品	()		
減価償却累計額	()()		
	()		()

京都支店における税引前の利益 = 円

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

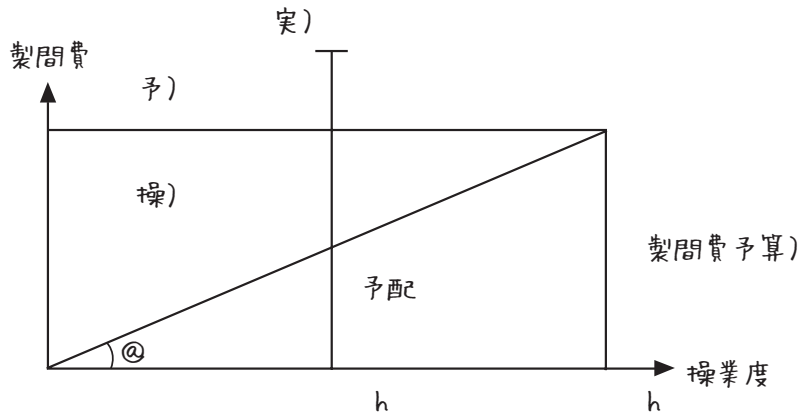
142回

143回

第4問 配点→20点

アシストノート

計算用紙



	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

第 5 問 配点→20 点

全部原価計算による損益計算書 (単位：円)

売 上 高	()
売 上 原 価	()
配 賦 差 異	()
売 上 総 利 益	()
販 売 費	()
一 般 管 理 費	()
営 業 利 益	<u>394,400</u>

直接原価計算による損益計算書 (単位：円)

売 上 高	()
変 動 売 上 原 価	()
変 動 製 造 マー ジ ン	()
変 動 販 売 費	()
貢 献 利 益	()
固 定 費	()
営 業 利 益	()

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

第 2 問 配点→20点

問 1

銀行勘定調整表			
平成26年 3月31日			
(単位：円)			
銀行の残高証明書の残高			()
加算： []			()
減算： []	()		
[]	()		
[]	()		()
企業の当座預金勘定の残高			()

問 2

	企業側の修正仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問 3

貸借対照表に計上される当座預金の金額	¥
--------------------	---

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第3問 配点→20点

損 益 計 算 書
(自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位：円)

I	売 上 高			()
II	売 上 原 価			
1	期首商品棚卸高	()		
2	当期商品仕入高	()		
	合 計	()		
3	期末商品棚卸高	()		
	差 引	()		
4	棚卸減耗損	()		
5	()	()		()
	()			()
III	販売費及び一般管理費			
1	給 料	()		
2	旅 費 交 通 費	()		
3	水 道 光 熱 費	()		
4	保 險 料	20,000		
5	消 耗 品 費	()		
6	減 価 償 却 費	()		
7	() 償 却	()		
8	貸倒引当金繰入	()		
9	退職給付費用	()		()
	()			()
IV	営業外収益			
1	受 取 利 息			()
V	営業外費用			
1	支 払 利 息	()		
2	()	()		
3	貸倒引当金繰入	()		()
	経 常 利 益			()
VI	特 別 利 益			
1	()			()
VII	特 別 損 失			
1	災 害 損 失		1,500	
	税引前当期純利益			()
	法人税、住民税及び事業税			()
	()			()

第 4 問 配点→20 点

製造原価報告書

(単位：円)

I 材料費			
1. 期首材料棚卸高	120,000		
2. 当期材料仕入高	()		
合計	()		
3. 期末材料棚卸高	()	()	
II 労務費			
1. 賃金	()		
2. 給料	()	()	
III 経費		()	
合計		()	
製造間接費配賦差異		()	
当期総製造費用		()	
期首仕掛品棚卸高		()	
合計		()	
期末仕掛品棚卸高		()	
当期製品製造原価			19,700,000

仕掛品

(単位：円)

前期繰越 ()	当期完成高 ()
直接材料費 8,295,000	次期繰越 ()
直接労務費 ()	
製造間接費 ()	
()	()

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第5問 配点→20点

組別総合原価計算表

(単位：円)

	X 製品		Y 製品	
	直接材料費	加工費	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	451,000	129,400	—	—
当月製造費用	2,370,000		1,545,000	
合計	2,821,000		1,545,000	
月末仕掛品原価			—	—
完成品総合原価			1,545,000	

損益計算書

(単位：円)

I 売上高		7,520,000
II 売上原価		
1. 月初製品棚卸高	()	
2. 当月製品製造原価	()	
合計	()	
3. 月末製品棚卸高	()	()
売上総利益		()

第 138回

●問題→別冊 P29

●解答・解説→P65

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第2問 配点→18点

株主資本等変動計算書
自平成25年4月1日 至平成26年3月31日 (単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計
当 期 首 残 高	40,000	5,000	0	5,000
当 期 変 動 額				
剰余金の配当等				
準備金による増資	()	()		()
新株の発行	()	()		()
吸収合併	()	()	()	()
当期純利益				
当期変動額合計	()	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()	()

下段へ続く

上段より続く

	株 主 資 本					
	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 合 計
	利益準備金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利益剰余金 合 計	
		新築積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当 期 首 残 高	2,000	0	300	6,000	()	()
当 期 変 動 額						
剰余金の配当等	()	()		()	()	()
準備金による増資	()				()	
新株の発行						()
吸収合併						25,600
当期純利益				()	()	()
当期変動額合計	()	()	0	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	300	()	()	()

第3問 配点→22点

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	()	支払手形	()
受取手形	()	買掛金	()
売掛金	()	短期借入金	()
商品	()	未払金	()
前払費用	()	未払法人税等	()
()	()	未払費用	()
貸倒引当金	△()	流動負債合計	()
流動資産合計	()	II 固定負債	
II 固定資産		()	()
有形固定資産		退職給付引当金	()
建物	()	固定負債合計	()
減価償却累計額	() ()	負債合計	()
備品	()	純資産の部	
減価償却累計額	() ()	I 資本金	()
()	()	II 資本準備金	()
有形固定資産合計	()	III 利益剰余金	
無形固定資産		利益準備金	()
()	()	()	()
無形固定資産合計	()	利益剰余金合計	()
投資その他の資産		純資産合計	()
長期貸付金	()		
貸倒引当金	△()		
投資その他の資産合計	()		
固定資産合計	()		
資産合計	()	負債及び純資産合計	()

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第4問 配点→20点

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

第5問 配点→20点

問1

総合原価計算表

(単位：円)

	原料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	1,600,000	749,500	2,349,500
当月製造費用	7,520,000	7,573,700	15,093,700
合計	9,120,000	8,323,200	17,443,200
差引：月末仕掛品原価	()	()	()
完成品総合原価	()	()	()

問2

総合原価計算表

(単位：円)

	原料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	1,600,000	749,500	2,349,500
当月製造費用	7,520,000	7,573,700	15,093,700
合計	9,120,000	8,323,200	17,443,200
差引：月末仕掛品原価	()	()	()
完成品総合原価	()	()	()

第 139回

●問題→P35

●解答・解説→P78

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第2問 配点→20点

問1	¥	問2	¥	問3	¥
----	---	----	---	----	---

問4

備 品

日 付			摘 要	借 方	日 付			摘 要	貸 方
26	1	1	前 期 繰 越		26	1	1		
						12	31		

備品減価償却累計額

日 付			摘 要	借 方	日 付			摘 要	貸 方
26	1	1			26	1	1	前 期 繰 越	
	12	31				12	31		

問5	¥	問6	¥
----	---	----	---

第3問 配点→20点

貸借対照表

平成26年3月31日

(単位：円)

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	()	支払手形	1,455,000
受取手形	()	買掛金	1,537,000
貸倒引当金	() ()	未払	()
売掛金	()	未払法人税等	()
貸倒引当金	() ()	未払費用	()
()	()	流動負債合計	()
未収入金	()	II 固定負債	
前払費用	()	長期借入金	9,000,000
未収収益	()	退職給付引当金	()
流動資産合計	()	固定負債合計	()
II 固定資産		負債の部合計	()
建物	()	純資産の部	
減価償却累計額	() ()	資本金	10,000,000
備品	()	利益準備金	1,500,000
減価償却累計額	() ()	繰越利益剰余金	()
固定資産合計	()	純資産の部合計	()
資産の部合計	()	負債・純資産合計	()

区分式損益計算書に表示される利益

① 売上総利益	¥
② 営業利益	¥
③ 経常利益	¥
④ 当期純利益	¥

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第4問 配点→20点

問1

予算部門別配賦表

(単位：円)

費目	合計	製造部門		補助部門		
		第1製造部	第2製造部	修繕部	材料倉庫部	工場事務部
部門費	138,720,000	65,760,000	48,960,000	9,000,000	7,000,000	8,000,000
修繕部費						
材料倉庫部費						
工場事務部費						
製造部門費						

第1製造部の予定配賦率 = 円/時間

第2製造部の予定配賦率 = 円/時間

問2

製造間接費(第1製造部)

(単位：円)

実際発生額	6,000,000	予定配賦額	()
予算差異	()	操業度差異	()
	()		()

第5問 配点→20点

問1

直接原価計算による損益計算書

(単位：円)

売上高	()
変動売上原価	()
変動製造マージン	()
変動販売費	()
貢献利益	()
製造固定費	()
固定販売費および一般管理費	()
営業利益	()

問2 当期の損益分岐点の売上高 = 円

問3 営業利益 140,000円を達成するための売上高 = 円

第 140回

●問題→P41

●解答・解説→P90

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第2問 配点→20点

(1)

仕 訳 日 計 表

平成27年6月1日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
	(省略)	現 金	(省略)	
		受 取 手 形		
		売 掛 金		570,000
		未 収 入 金		
		()		
		支 払 手 形		80,000
150,000		買 掛 金		
		未 払 金		
		借 入 金		70,000
		売 上 入		
	支 払 手 数 料			
	固 定 資 産 売 却 損			

(2)

総 勘 定 元 帳

受 取 手 形

支 払 手 形

平成27年	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高	平成27年	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
6	1 前月繰越	(省略)	89,000		借	89,000	6	1 前月繰越	(省略)		52,000	貸	52,000
	〃 仕訳日計表				〃			〃 仕訳日計表				〃	
	〃 〃			53,000	〃			〃 〃				〃	

(3)

仕 入 先 元 帳

北 陸 商 店

東 海 商 店

平成27年	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高	平成27年	摘 要	仕丁	借 方	貸 方	借/貸	残 高
6	1 前月繰越	(省略)		218,000	貸	218,000	6	1 前月繰越	(省略)		155,000	貸	155,000
	〃 出金伝票				〃	153,000		〃 出金伝票				〃	
	〃 振替伝票				〃			〃 振替伝票			260,000	〃	
	〃 〃				〃			〃 〃				〃	

第3問 配点→20点

損 益 計 算 書
自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

(単位：円)

I 売 上 高	()	()
II 売 上 原 価		
1 期 首 商 品 棚 卸 高	()	
2 当 期 商 品 仕 入 高	()	
合 計	()	
3 期 末 商 品 棚 卸 高	()	
差 引	()	
4 棚 卸 減 耗 損	()	
5 ()	()	()
()		()
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
1 給 料	()	
2 旅 費 交 通 費	()	
3 水 道 光 熱 費	()	
4 通 信 費	()	
5 保 険 料	120,000	
6 減 価 償 却 費	()	
7 () 償 却	()	
8 () 繰 入	()	
9 貸 倒 損 失	()	
10 退 職 給 付 費 用	()	()
()		()
IV 営 業 外 収 益		
1 受 取 利 息	()	
2 ()	()	()
V 営 業 外 費 用		
1 支 払 利 息	()	()
()		()
VI 特 別 利 益		
1 ()	()	()
VII 特 別 損 失		
1 ()	()	()
税 引 前 当 期 純 利 益	()	()
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	()	()
()	()	()

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第4問 配点→20点

問1

	借 方		貸 方	
	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				

問2

月次損益計算書(一部)

(単位：円)

I 売 上 高		()
II 売 上 原 価		
当月製品製造原価	()	
月末製品棚卸高	()	
標準売上原価	()	
原 価 差 異	()	()
売 上 総 利 益		()

第5問 配点→20点

- 月末仕掛品原価 = 円
- 完成品総合原価 = 円
- 等級製品Aの完成品総合原価 = 円
- 等級製品Bの完成品総合原価 = 円
- 等級製品Cの完成品総合原価 = 円

第 141 回

●問題→P47

●解答・解説→P103

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第 3 問 配点→20 点

精 算 表

日商株式会社

平成27年 3月31日

(単位：円)

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
当座預金	195,000							
受取手形	80,000							
売掛金	130,000							
繰越商品	41,000							
消耗品	15,000							
仮払消費税	165,200							
建物	3,000,000							
備品	400,000							
のれん	144,000							
支払手形		63,000						
買掛金		120,000						
仮受消費税		169,600						
借入金		800,000						
退職給付引当金		380,000						
貸倒引当金		9,200						
建物減価償却累計額		490,000						
備品減価償却累計額		144,000						
資本金		1,500,000						
利益準備金		150,000						
繰越利益剰余金		48,820						
売上		2,120,000						
仕入	1,150,000							
給料	660,000							
支払保険料	4,920							
支払利息	9,500							
	5,994,620	5,994,620						
貸倒損失								
貸倒引当金繰入								
棚卸減耗損								
商品評価損								
消耗品費								
()								
減価償却費								
()償却								
()利息								
退職給付費用								
()保険料								
当期純()								

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第4問 配点→20点

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

第5問 配点→20点

問1 万円

問2 万円

問3 %

問4 万円

問5 万円

第 142 回

●問題→P52

●解答・解説→P115

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第2問 配点→20点

株主資本等変動計算書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

(単位：円)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金
当 期 首 残 高	10,000,000	540,000	150,000
当 期 変 動 額			
新 株 の 発 行	()	()	
剰 余 金 の 配 当		()	△()
別 途 積 立 金 の 積 立 て			
吸 収 合 併	()	()	()
当 期 純 利 益			
当 期 変 動 額 合 計	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()

(下段へ続く)

(上段より続く)

	株 主 資 本			
	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金		株 主 資 本 合 計
		そ の 他 利 益 剰 余 金		
		別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	
当 期 首 残 高	240,000	120,000	950,000	12,000,000
当 期 変 動 額				
新 株 の 発 行				()
剰 余 金 の 配 当	()		△()	△()
別 途 積 立 金 の 積 立 て		()	△()	-
吸 収 合 併				()
当 期 純 利 益			()	()
当 期 変 動 額 合 計	()	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()	()

第3問 配点→20点

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
現 金 預 金	()	短 期 借 入 金	()
受 取 手 形	()	支 払 手 形	()
売 掛 金	()	買 掛 金	()
商 品	()	未 払 金	()
前 払 費 用	()	未 払 費 用	()
()	()	()	()
貸 倒 引 当 金	(△)	賞 与 引 当 金	()
流 動 資 産 合 計	()	流 動 負 債 合 計	()
II 固 定 資 産		II 固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		()	()
建 物	()	固 定 負 債 合 計	()
建 物 減 価 償 却 累 計 額	(△)	負 債 合 計	()
備 品	()		
備 品 減 価 償 却 累 計 額	(△)		
土 地	()		
有 形 固 定 資 産 合 計	()	純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産		I 資 本 金	()
商 標 権	()	II 資 本 準 備 金	()
無 形 固 定 資 産 合 計	()	III 利 益 剰 余 金	
投 資 そ の 他 の 資 産		利 益 準 備 金	()
()	()	()	()
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	()	利 益 剰 余 金 合 計	()
固 定 資 産 合 計	()	純 資 産 合 計	()
資 産 合 計	()	負 債 及 び 純 資 産 合 計	()

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第4問 配点→20点

問1

借方科目	金額	貸方科目	金額

問2

借方科目	金額	貸方科目	金額

問3

円(有利差異 ・ 不利差異)

(有利差異・不利差異)のいずれかを○で囲みなさい。

問4

予算差異	円(有利差異 ・ 不利差異)
能率差異	円(有利差異 ・ 不利差異)
操業度差異	円(有利差異 ・ 不利差異)

(有利差異・不利差異)のいずれかを○で囲みなさい。

第5問 配点→20点

第1工程月末仕掛品の原料費 = 円

第1工程月末仕掛品の加工費 = 円

第2工程月末仕掛品の前工程費 = 円

第2工程月末仕掛品の加工費 = 円

第2工程完成品総合原価 = 円

第 143 回

●問題→P58

●解答・解説→P127

第 1 問 配点→20点

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

133回

134回

135回

136回

137回

138回

139回

140回

141回

142回

143回

第2問 配点→20点

1.

建 物

年 月 日	摘 要	借 方	年 月 日	摘 要	貸 方
27 4 1	前 期 繰 越		28 3 31	次 期 繰 越	
27 7 1					

建物減価償却累計額

年 月 日	摘 要	借 方	年 月 日	摘 要	貸 方
28 3 31	次 期 繰 越		27 4 1	前 期 繰 越	
			28 3 31		

ソフトウェア

年 月 日	摘 要	借 方	年 月 日	摘 要	貸 方
27 4 1	前 期 繰 越		28 3 31	ソフトウェア償却	
27 10 1			28 3 31	固定資産除却損	
			28 3 31	次 期 繰 越	

2.

固定資産管理台帳

平成28年3月31日現在

取得年月日	用途	期末数量	耐用年数	期首(期中取得)取得原価	期首減価償却累計額	差引期首(期中取得)帳簿価額	当期減価償却費
備品							
平成23.4.1	備品A	10	8年	1,800,000	()	()	()
平成25.4.1	備品B	()	6年	()	()	()	()
平成 . .	備品C	1	年	()	()	()	()
平成26.4.1	備品PC	10	4年	2,200,000	()	()	()
小 計				()	()	()	()

3. 当期の固定資産除却損の金額 円

第4問 配点→20点

問1

仕 掛 品		(単位：円)
6 / 1 月初有高 ()	6 / 30 製 品 ()	
30 直接材料費 ()	〃 月 末 有 高 ()	
〃 直接労務費 ()		
〃 製造間接費 ()		
()	()	

月次損益計算書		(単位：円)
売 上 高		9,320,000
売 上 原 価		
月初製品有高	560,000	
当月製品製造原価	()	
合 計	()	
月末製品有高	()	
差 引	()	
原 価 差 異	()	()
売上総利益		()
販売費及び一般管理費		1,870,000
営 業 利 益		()

問2 予 算 差 異 = 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
 いずれかを○で囲むこと
 操 業 度 差 異 = 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
 いずれかを○で囲むこと

第5問 配点→20点

問1 円

問2 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
 いずれかを○で囲むこと

問3 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
 いずれかを○で囲むこと

問4 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
 いずれかを○で囲むこと

問5 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
 いずれかを○で囲むこと

問6 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
 いずれかを○で囲むこと